

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都港区六本木 6-5-27
園名	リトルパルズ保育園六本木

1 活動のテーマ

<テーマ>

色

<テーマの設定理由>

様々な色を使った絵に興味を持つ子どもが多かったので、自分で作ったクレヨンで絵を描くことを楽しんでほしいと思い設定をしました。

2 活動スケジュール

年間を通して色はどのように作られているのか、色を混ぜたらどうなるのかなど子どもたちが主体的に取り組める活動を取り入れました。また、色の表を作成することで、基本となる「色」について知ることが出来ました。表をもとに様々な活動へと取り入れ、探求を深めて行きました。

3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【素材や道具】

メイキングクレヨン、キャンパス、水彩紙、額縁、模造紙、緩衝材、シリンジ、透明カップ、絵の具、色画用紙、折り紙、水性ペン

4 探究活動の実践

<活動の内容>

「色の足し算」

- ①絵本『いろいろなほん』を読んで色は混ぜて作られることを伝える
- ②3原色を紹介する
- ③3原色+白、黒の絵の具を用意し、好きな色を2色選ぶ
- ④”+”と”=”を書いた模造紙を壁に貼り、”+”の両端に片手ずつ手形をおす
- ⑤両手を合わせて色を混ぜ、”=”の右側に手形を押しつけて色の足し算表をつくる

「色水カーテンづくり」

- ①透明カップの底を水性ペンで塗り、水を入れて色水をつくる
- ②色水をシリンジで吸い上げ、緩衝材へさして色を入れる
- ③できた色水を混ぜて新しい色をつくる

「自分だけのクレヨン作り」

メイキングクレヨンで自分の好きな色のクレヨンをつくる

「オリジナルクレヨンで絵を描こう」

- ①様々な種類の紙がある事を伝える
- ②オリジナルクレヨンで様々な種類の紙に絵を描く

「展示会」

- ①描いた絵を額縁に入れる
- ②子どもたちで絵を入れた額縁を飾る
- ③どのような絵を描いたのか発表する

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・作った足し算表を保育室に貼ることで自分がどの色をつかったのか子ども同士で会話ができるようにしました。また、友達同士で同じ色を作り上げた時に「同じだね！」と言葉にする子どももいれば「ちょっと違うね！」と言葉にする子どもの姿も見られました。最後には、一人ひとり作り上げた色を発表するなどの場を設けました
- ・子どもの発言をピックアップし、周りの子どもへ伝えることで子ども同士の会話へと繋げました。
- ・活動中に出た「やってみたい」という言葉を大切に、可能な限り子どもたちが自由に取り組めるように材料を用意し、環境設定の工夫を行いました
- ・保育者が答えを出すのではなく実際にやってみたり、ヒントを出して自分で考えたりして答えを導き出せるようにしました
- ・基本的に保育者は手を出さず、子どもたち一人ひとりが考えを持ち自由に活動できるようにしました



5 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・初回の活動で色の足し算を取り入れたことで、何と何を混ぜたら何色になるのかを知り、他の活動でも単色で使うのではなく2色以上混ぜて使うことが増えたように感じました
- ・普段使うことがない道具を使用したことで興味を持ち、いつも以上に活動に集中して取り組む様子が見られました
- ・色という概念にとらわれず、どんな色を作りたいのかを言葉で表現しながら色づくりに取り組む姿が見られました
- ・わずかな色の差ではあったが、少しでも違うということに気づくことが出来ました